



9月になりましたが、今年も残暑は厳しそうですね…夏の疲れも出てくる時期です。引き続き水分補給もしながら体調に気を付けて過ごしていきたいと思います☆ 今月号では子どもたちの遊びの様子と保育者が大切にしているポイントについてお話ししていきたいと思います。

子ども主体の遊び展開 ～既存の遊びにとらわれない～

子どもの発信をキャッチする

クラスでは、子どもたちの主体性を伸ばしていくために子どもたち自身の“やってみたい！”という興味関心の「発信」を保育者が「キャッチする」ことを意識的に取り組んでいます。先日「タコを作りたい！」とCちゃんに言われました。「どうやって作ろうか～」と問いかけると色々な廃材の中からトイレットペーパーの芯をチョイス。そこからは、紙が欲しい→何色の紙を使う…？足を作りたい→貼る…？切る…？など大人とのやり取りを経てCちゃんなりの希望をどう形にして表現するか…！このように「何があったら作れるかなあ？」等と問いかけ、子どもたちがさらにその先を考える足がかりになるような関わりを大切にしています。

自分でゴールを決める

タコを完成させたCちゃんは「できたー！」と満面の笑み。この時に子どもは大きな達成感を感じています。大人からしてみると、その完成品の出来栄に「え。これで終わりにしていいの!?」「もうちょっとこうしたら？」と言ってみたくなったり、思ってしまうことも多々あります。しかし、子どもにとっては「それ」でいいのです。ゴール（終わり、完成）は大人が決めるのではなく、子どもたちが自分で決める。主体性を伸ばすために見栄えや完成よりもそこにたどりつくまでの過程、そして子ども自身の気持ちを大切にしています。

絵本からの展開

「おやおやおやさい」という絵本があります。「きょうは いよいよ マラソンたいかい」で始まる物語に登場するのは「りっぱなパセリは つっぱしる」パセリ。しかしその絵を見てFくんは「ブロッコリーだよ！」と言い張ります。…たしかに。ブロッコリーに見えなくもありません。その子を否定するのではなく、同じものを見ても異なる認識をどう捉えたらよいか考えました。そこでスーパーで購入したブロッコリーとパセリを次の日クラスに持ち込んでみました。実際に見てみるとその違いは歴然です。見た目はもちろん、手触りや重さ、葉の違い、においや断面まで…！ブロッコリーの粒々をまじまじと見ている子たちに「つぼみなんだって」というと「ちっちゃーい！」と笑顔のNくん。暑さで元気がなくなってきたパセリとブロッコリーを水を張ったボウルに入れた時、Fくんが「肩までいれないと」とブロッコリーを手で支えます。なんとお風呂に見立てるとは！驚く私をよそにYくんが「じゃあママと子どもだね。こっち（パセリ）がママでこっち（ブロッコリー）がこども」と会話が続けました。実はFくんは家族で行く極楽湯の話を度々してくれます。そして次の日新しく購入されたのは「おふろやさん」という絵本。またさらに子どもたちの世界が広がりそうな予感がします…！

保護者会のお知らせ

9月12日（土）に保護者会があります。（ぞう組で10:20から）

☆子どもの成長など日々の生活の様子

☆今後の行事の予定や内容の確認 等を予定しています。

参加していただけたら嬉しいです(*^-^*)お待ちしております！